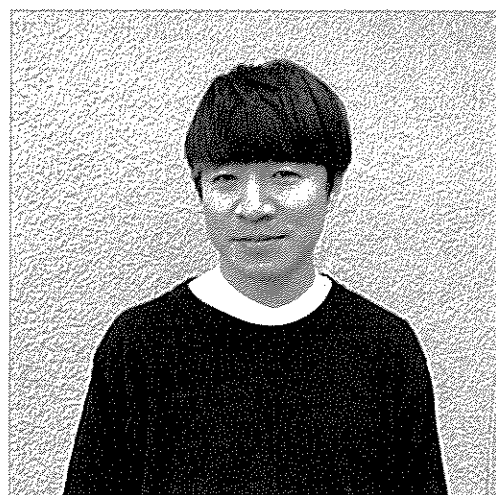


男女共同参画フォーラム 2022

男女平等とサステナブルな社会

— 知識と意識をアップデート



開催日: 令和4年6月15日～7月3日

会 場: 武蔵野スイングホール・武蔵野商工会館・武蔵野総合体育館・武蔵野プレイス・
武蔵野市民会館・武蔵野市役所

主 催: 武蔵野市 (協力: 男女平等推進センター企画運営委員会)

目次

【はじめに】

武蔵野市男女平等推進担当課長 向田 恒彦	1
----------------------	---

【事業報告】

■講演会「男女平等とサステナブルな社会—知識と意識をアップデート」 (基調講演) 大崎 麻子さん	2
--	---

■講座「男らしさの ^{よろい} 鎧にさよなら」 清田 隆之さん	4
---	---

■公募企画

講座

「幼児から思春期まで 明るく伝えよう、生と性のこと」 (企画・運営 にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～)	6
---	---

事例発表&講演

「令和時代の地域アクション 地域防災×ジェンダー×教育」 (企画・運営 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ)	8
--	---

講演&無料相談会

「ちいさき声を活かせる街へ 性の多様性の観点から考えたいこと&暮らしの無料相談会」 (企画・運営 東京都行政書士会武蔵支部)	10
---	----

■男女共同参画フォーラムパネル展	12
------------------	----

■各事業チラシ	15
---------	----

■活動の記録	20
--------	----

■資料

企画募集チラシ	22
---------	----

■企画運営委員と参加団体	24
--------------	----

はじめに

男女共同参画フォーラムは、男女平等の意識啓発を目的として、男女共同参画週間（毎年6月23日～29日）に合わせて実施する男女共同参画週間事業です。武蔵野市男女平等推進センター企画運営委員会との協働により企画・運営を行っています。

今年度は「男女平等とサステナブルな社会－知識と意識をアップデート」をテーマとして、令和4年6月15日～7月3日の期間で実施しました。

基調となる講演では「男女平等とサステナブルな社会－知識と意識をアップデート」と題して、NPO法人Gender Action Platform理事の大崎麻子さんにお話しいただきました。

また、文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表の清田隆之さんによる講座「男らしさの鎧にさよなら」のほか、3つの団体公募企画を実施しました。団体公募企画は、「にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～」の企画運営による講座「幼児から思春期まで明るく伝えよう 生と性のこと」や、「作ろう！みんなのジモトWa-Shoi パートナーシップ」の企画運営による事例発表&講演会「令和時代の地域アクション 地域防災×ジェンダー×教育」、「東京都行政書士会武鷹支部」の企画運営による講演会&無料相談会「ちいさき声を活かせる街へ 性の多様性の観点から考えたいこと&暮らしの無料相談会」で、いずれもそれぞれの団体の特色を活かした企画でした。

期間中に延べ172名の方が講座等に参加したほか、男女平等推進登録団体によるパネル展も行い、広く男女平等の意識啓発をすることができたのではないかと思います。

「武蔵野市第四次男女平等推進計画」では、計画の目指す将来像として、「すべての人が、互いに人権を尊重し、性別等にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮して、生涯にわたり、いきいきと暮らせるまち」を掲げています。今後もフォーラムをはじめ、さまざまな取り組みを通じて、この将来像の実現を図ってまいります。

最後になりますが、今回の男女共同参画フォーラムを実施するにあたり、多大なご協力をいただいた団体の皆様、市民の皆様ならびに関係者の皆様に心より感謝いたします。

武蔵野市 男女平等推進担当課長
向田 恒彦

【講演会】

基調講演「男女平等とサステナブルな社会－知識と意識をアップデート」

講師 大崎 麻子さん (NPO 法人 Gender Action Platform 理事)



日時：令和4年6月25日（土曜日）14時～16時

14:00～14:05 市民活動担当部長あいさつ

/男女平等推進センター企画運営委員会
委員長あいさつ

14:05～16:00 大崎麻子さん講演（質問への回答含む）

会場：武蔵野スイングホール

参加人数：49名

託児利用：0名

手話通訳利用：1名

【内容】

- ◆ 国際社会共通の目標：「国連憲章」「世界人権宣言」に根ざした普遍的理念
 - ジェンダー平等＝男女が平等に権利・機会を享受し、責任を分かちあえる状態。意思決定にも対等に参画できる状態。
 - 女性・女の子のエンパワーメント＝人生・日常生活におけるあらゆる選択を自己決定するための力（健康、教育、経済力、政治・社会参画）を身につけること。（自己決定権の確立・行使＝人権）
- ◆ SDGsとジェンダー平等：「目的」「実施原則」「単体の目標」という3側面
 - SDGsは「国連憲章」「世界人権宣言」を実現するための最新の普遍的枠組みである。それらの文書には、「権利における男女平等」と「性差別の撤廃」が普遍的価値・目標として明記されている。
 - SDGsの原典である「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」（2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて全会一致で採択）は、冒頭で「（SDGsは）ジェンダー平等とすべての女性・女の子のエンパワーメントを目指す」と謳い、「17のすべての目標にジェンダー視点をシステムティックに主流化すべきこと」と明記している。
 - さらに、単体の目標として、ゴール5「ジェンダー平等と女性・女の子のエンパワーメント」があり、「性差別の撤廃」「暴力の根絶」「無償ケア労働（家庭内の家事・育児・介護など）の再分配」など6つのターゲットが示されている。「無償ケア労働」は人々の生存と社会全体を下支えする重要な労働だが、その責任は女性に偏っており、女性のエンパワーメントの大きな障壁になっていることから、その責任を「家庭内の男女間」「家庭と公共・民間」で分配し直すことが求められている。

◆ 動き出した日本の政策－SDGsを背景に

- 2020年4月、国連のグテーレス事務総長は、加盟国政府に対して、コロナが男女にどのような異なる影響を及ぼすかを精査し、「誰一人取り残さない」コロナ対策を行うよう働きかけた。また、ロックダウンや外出自粛政策が取られる中で、DVや性暴力などの「女性・女の子に対する暴力」の防止・対応に注力することを求めた。
- 日本政府は、「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」を立ち上げ、健康・経済・無償ケア労働・暴力の4つの側面から、女性への影響について、あらゆるデータ/統計と、女性支援団体からの聞き取りを踏まえて、実態を明らかにし、報告書「誰一人取り残さないポストコロナの社会へ～」として取りまとめた。社会や経済に構造化されたジェンダー不平等に対する抜本的な対策を取るべきであると提言している。
- 今年発表された、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2022」（通称：女性版骨太の方針）は、それらの提言も踏まえて策定されている。方針は、4つの柱で構成されている。
 1. 女性の経済的自立（男女間賃金格差の解消、デジタル人材育成等）
 2. 女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現（女性の人権及び暴力の根絶）
 3. 男性の家庭・地域社会における活躍（無償ケア労働の再分配等）
 4. 女性の登用目標達成（ジェンダーバランスの拡充）

【参加者の感想】

- ・ 大変大きなテーマに関して、データや資料に基づいて具体的にご説明いただき、もっともっと話を聞きたかった。経済的自立のこと、賃金格差の解消という意識がアップデートされました。まさに今まで漠然と考えていた男女不平等のもやもやを大崎さんの話でアップデートすることができました。ありがとうございました。
- ・ 国政の中心にいらっしゃる講師の方のお話だったので、迫力があつた。これからの国のあり方、政策の重要度が非常に重要だということが分かった。自分に何ができるか、考えたい。
- ・ エンパワーメントという言葉の意味を改めて考えるよい機会になりました。女性に必要なのは支援や励ましだけでなく、人として立つ力、権利なのだということ。これを実現するためにどれだけのジェンダーバイアスやアンバランスに切り込んでいかないといけないのだろうと圧倒されてしまう部分もありますが、大崎先生のように道を拓いていってくださる方々のお話を伺い、その姿勢を見せていただいたことで力をいただけました。ありがとうございました。
- ・ ジェンダー平等について、日本の現状、特に政策について理解することができた。ジェンダーの視点をすべての分野にとり入れる、主流とする考え方に“はっ”とさせられた。具体的にどういふことをやっていけばよいのか、以前よりはっきりと「分かる」ことができた。大崎さんの話にひきこまれ、このような人が政府の中枢に働きかけていらっしゃることに勇気と安心感を得ることができた。

【講座】

「男らしさの^{よろい}鎧にさよなら」

講師 清田 隆之さん（文筆業、恋バナ収集ユニット桃山商事代表）

日時：令和4年7月3日（日曜日）14時～16時

14:00～15:55 清田 隆之さん 講演
（質問への回答含む）

15:55～16:00 市長あいさつ

会場：武蔵野商工会館 市民会議室

参加人数：36名

託児利用：1名

【内容】

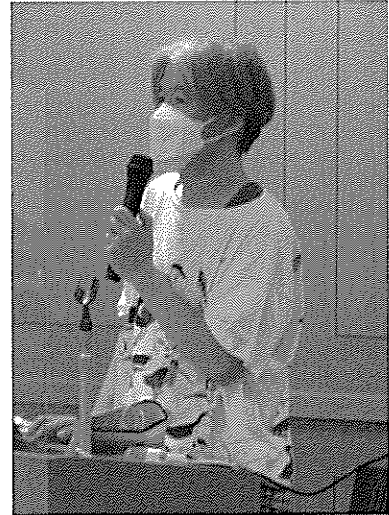
- ◆ 現在の主な取り組み
- ◆ 男らしさの鎧にさよなら
- ◆ 2022年の男性を取り巻く環境
 - 男性学
 - 男性ならではの問題
 - 女性たちの目に映る男性の姿
 - 男性たちの内省的応答
 - 男性性をどう考えていくか
 - ここ数年、男性の相談が増加傾向

◆ “男らしさの鎧”とは？

マジョリティ男性（社会が想定している「ふつうの男の人」に当てはまっている男性たち）には、自分がマジョリティであるという発想すらないことが多い。無自覚にジェンダーの抑圧者、加害者になっているのではないか。

「男らしさの鎧」とは自分を守るものでもあり、縛り付けるものでもあるが、簡単に切り分けられるものでもない。個人の内側に複雑に編み込まれたモザイクのようなものであり、時間をかけていったりきたりしながら、自然と溶けていくものではないか。

- 我々男性はどうすればいいのか？
 - ・ ジェンダーをめぐる現在地を知る
 - ・ doing と being
 - ・ 感情の言語化
 - ・ 自分自身の当事者になる
 - ・ 過去の傷つきや被害体験にも目を向ける
 - ・ 安心して自分語りができる空間
 - ・ 社会とどう関わっていくか
- 男同士の関係で生じた傷つき体験



【参加者の感想】

- ・ 最高でした。Human Doing、Human Being のタームがいろいろなことをとらえ直すのに、今日一番ピンとくるワードでした。ずっと考えてきたこと、最近考えていること、実践していることにリンクしまくる内容ばかりだったので、更にパワーアップできます。本当に楽しかったです。ご本も改めて拝読します。楽しかったです。
- ・ 男性の中でも経済的社会的に恵まれた人たち、中流以上の階層の人たちに焦点が当たっている気がします。もちろん様々な立場の男性が悩んでいるかと思いますが、低収入、学歴の低い男性の方がより社会からの評価が厳しいため苦しんでいるでしょうから、今後はそういった層に向けての男女平等推進センターの支援がなされることを期待します。清田さんにもそういった層への相談に取り組んでほしいです。
- ・ 複雑な内容を整理しすぎずに話してもらえたのがよかった。すぐに解決できることや明日すぐできることなどが安易に提示できないトピックではあるが、日々の生活の中で少しずつ進めていけるのでは、という感想を持った。
- ・ 性別による“らしさ”を普段から考えることがあったが、清田さんの講座でもっと“男らしさ”で苦しむ人が潜在的にたくさんいるのではと感じました。家族にもきかせたい内容でした。学んだことを身近な人に伝えていきます。ありがとうございました。
- ・ 男性が生きにくいのは本当にそう思います。無意識に環境や社会が押し付けているものに対抗するのは意識的に教育で変えていくしかないのでしょうか。性教育で小さい頃からジェンダーについて考えていくのは意味があると思います。リアル清田さんのお話をきけてよかったです。ありがとうございました。
- ・ 男らしさから脱却できる人が増えたら、女性やその他多様な性の人も生きやすくなると思った。今回のような講座を定期的に行ってもらえるとうれしい。
- ・ human being と human doing の違いのお話を興味深くお聞きしました。human being の部分を深く耕していくこと、そのプロセスに意味があることを知りました。ありがとうございました。また、悩み相談では相談者の現在地を共有するという点をスタートとしているということに共感しました。
- ・ マジョリティのことを「気づかずに済む人々」と呼ぶことに納得しました。“加害者側の無自覚”の理由はここにあるのかなと。一方で、社会システムの転換期において、女性だけでなく、男性側にも生きづらさがあると考えています。男女がお互いの違いを尊重し、助け合う社会を目指したいものですね。
- ・ 「一般男性」「普通」といわれる外見（つるつるにコーディングされたA面）はいつから当たり前と社会で認識されるようになったのか。doing と being の話や感情の部分を人に話す機会の不足など、いつの間にか男性も意識していないところで蓋をしてきた部分に対して、目を向けることがなかったことに気づかされた。たくさんのエピソードを収集している清田さんのニュートラルさがすごいなと思った。最後のまとめで、相手の現在地を確認しながら、論理的に理解するというお話に感動しました。
- ・ 清田さんのゆったりとした、おだやかな話し方で、自分の気持ちもゆったりとしてきました。男性学について学んでみたいと思いました。

【団体公募企画】

講座「幼児から思春期まで 明るく伝えよう、生と性のこと」

企画・運営 にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～

日時：令和4年6月18日（土曜日）14時30分～16時30分

会場：武蔵野総合体育館 大会議室

講師：直井亜紀さん（一般社団法人ベビケア推進協会代表理事・助産師・思春期保健相談士・
日本思春期学会性教育認定講師）

参加人数：43名

託児利用：4名

【プログラム】

14：30 直井亜紀さん講演

16：10 質疑応答

【内容】

一言で『性教育』と言っても、想像する内容は人それぞれ。月経、生殖、プライベートゾーン、自分らしく生きること等。そのどれもが性教育である。

日本語の『性』という字が、いやらしさや恥ずかしいという感情を連想させるが、それは日本の現代社会ならではの思い込みかもしれない。

難しく考えず、まずはわが子へ、『あなたがいてくれてうれしい』『生まれてきてくれたことがうれしい』というメッセージを伝え続けていくことが性教育の根っこを育てることにつながっているので、言葉や言葉以外の方法でも、それぞれの人らしく、日々の暮らしの中で伝えていこうと話された。

また、日本と海外の現状をデータも踏まえ、具体的にどのように伝えたらよいのか、本当に大切なことはシンプルであるとのお話から、家庭で伝える際に支えとなる、関連書籍や思春期以降の子どもに伝えたい(誘導したい)サイト等の紹介があった。

【参加者の感想】

- ・私が子どもの頃に「いのちの授業」を受けたかったです。自分の生き方も少し違っていたかな、と思い当たるところがあります。息子を個として尊重し愛していきます。
- ・大人が未来にすべき役割(教育)を放棄しているだけではないか？ 性教育に典型的にあらわれるのでしょうか。大人の責任・役割の放棄は考え直す必要があると感じます。
- ・いのちの教育として、広く子どもたちにも伝えたい。また、保護者にも先生方にも知ってもらえるような仕組みが作られるとよい。
- ・子どもの為にと思い参加したのですが、私自身の自信のなさが子どもに影響していると感じました。私が自分を大切にすることが、子どもも大切にすることに繋がるのかな、と考えました。

- ・ 2歳の娘が最近「ちんちん」「ママにちんちんはないの？」という質問をするようになり、そろそろ性教育を始めようと思っていたところだったので、とても勉強になりました。また、私や夫も「女の子らしく」「男の子らしく」とつい言ってしまいがちになっていたのも家庭からの刷り込みをなくそうと思いました。
- ・ とても感じる事が多く、「家庭での性教育」について、(木に例えた話があり)根っこを伝えていけばいい、というお話を聞いて、そんなに構えなくて伝えられそうだと思います。また、社会(会社)でのダイバーシティ推進のために、もっとこのような話をみんなに聞いてもらいたいと感じました。



【団体公募企画】

事例発表&講演「令和時代の地域アクション 地域防災×ジェンダー×教育」

企画・運営 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ

日時：令和4年6月26日（日曜日）13時30分～16時

会場：武蔵野プレイス フォーラム

講師：小山内世喜子さん（一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事・防災士）

参加人数：41名

託児利用：1名

【プログラム】

13:00 開場

13:30 開会 あいさつ

オープニングトーク（南町防災ネットワーク）

13:40 事例発表 加藤真愛さん（サニーママむさしの代表）

子育てしながら地域とつながる

～子育て支援拠点における男女共同参画と防災の取り組み～

※質疑応答

13:55 YouTube 動画 「ジェンダー視点を取り入れた防災教育」

※休憩 10分

14:15 講演 小山内世喜子さん（一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事）

防災教育から考える未来 サステナブルな社会の創り手育成

～ジェンダー視点を取り入れた防災とは～

※質疑応答

※アンケート記入

16:00 閉会

【内容】

大災害や感染対策で地域の防災力が問われています。令和時代の地域アクションでは『防災教育から考える未来』として、※将来世代に多様性社会や他者への配慮を学ぶ防災教育の必要性 ※ジェンダーの視点を取り入れることで、地域防災の訓練や避難所運営がどう変わるか ※家族で安心して暮らせるために自分たちができることは何か を事例発表と講演を通して考えていきます。

防災×ジェンダー×教育を合わせて考えることで、世代を超えて多様な人と社会課題について考える機会を作ることが目的です。

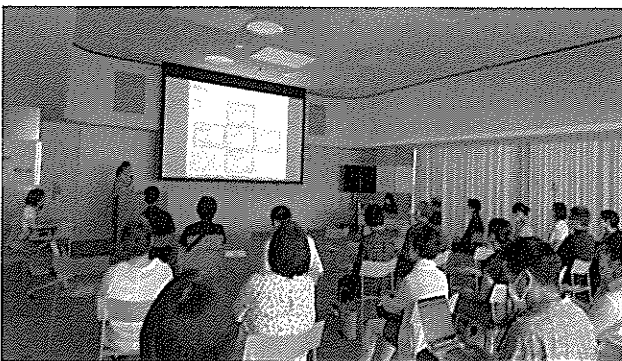
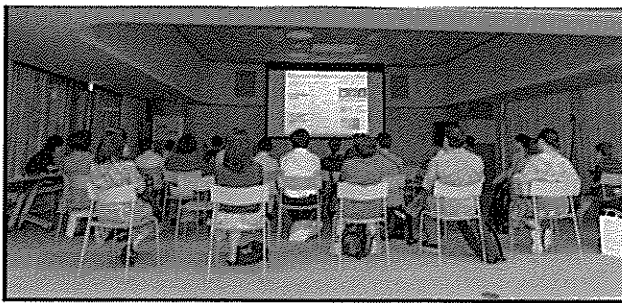
防災や子育て、教育、まちづくりにかかわる人を巻き込んで、このイベントをきっかけに、新たな気づきや意識をアップデートしていけるようにアクションしていきます。

【参加者の感想】

・ ふだん講演会などに参加しないのでよい機会をいただいた。小学校で保護者から防災にもつ

と興味をもってもらえるように考えていきたい。(30代)

- ・ 地域防災に取り組むうえで、未来を担う子どもや子育て世代を巻き込んでいくことは、やはり重要で基本になるとあらためて感じた。(30代)
- ・ せっかく青森から来ていただいたのでもう少しお話をお聞きしたかったです。(30代)
- ・ 学校への働きかけの方法を具体的に教えていただき参考になりました。(40代)
- ・ 中学生に焦点をあてたのが新鮮で、とても意味のある事だと思いました。(高校生より中学生のほうが災害時地域にいるという話)それぞれの地域によって事情が異なると思うので、その地域に沿った内容も基本とは別に必要だと思いました。(40代)
- ・ 何事も「主体性」を大切に。その主体性をすべての年代で育てることが大切だと感じつつ、どうすればいいのか…… 悩みます(40代)
- ・ ジェンダーや防災といった特定分野に限らず、多様な特性を持った人や様々な状況に置かれた人をどうまちづくりに進めていくべきか考える良い契機になりました。(40代)
- ・ Wa-shoiさんの活動にとっても興味を持ちました。地域防災に取り組むうえでコミュニティーが重要だと思いますが自治会に限度や限界がある現在、どのようにつながりをつくりあげていけばよいのでしょうか。(50代)
- ・ 中学生のうちから男女共同参画の教育はとても大切だと思った。地域にいる中学生の力に気づかされた。(50代)
- ・ とても役に立つ視点やヒントを提示していただきました。今後の活動の参考にさせていただきます。(60代)
- ・ 地域での子育てお母さんたちが復帰準備として地域にかかわりつながっていくという視点はとても新鮮でした。工夫もされていてよかったです。(60代)
- ・ 大変すばらしいイベントだったと思います。小山内さんの活動が広く理解され全国にひろがっていけば素晴らしいと思います。(60代)
- ・ 武蔵野市は私立中学校へ入る児童が多い。公立中学校での防災訓練はよいがそれだけでは不十分？武蔵野市の場合は公立小学校の高学年を対象に考えていければと思う。(70代)



【団体公募企画】

講演&無料相談会「ちいさき声を活かせる街へ

性の多様性の観点から考えたいこと&暮らしの無料相談会」

企画・運営 東京都行政書士会武鷹支部

日時：令和4年7月2日（土曜日）14時～16時

会場：武蔵野市民会館 集会室

講師：田中 勉（東京都行政書士会武鷹支部 支部長）

参加人数：9名

託児利用：なし

【プログラム】

14:00～15:20

1. 開会の挨拶

東京都行政書士会武鷹支部 支部長 田中 勉

2. 武蔵野市のパートナーシップ制度について

武蔵野市 市民部 市民活動推進課 男女平等推進担当課長 向田 恒彦

3. 性の多様性の観点から考えたいこと

講師：行政書士 田中 勉

4. セミナー終了の挨拶

15:25～16:00

5. 個別相談会

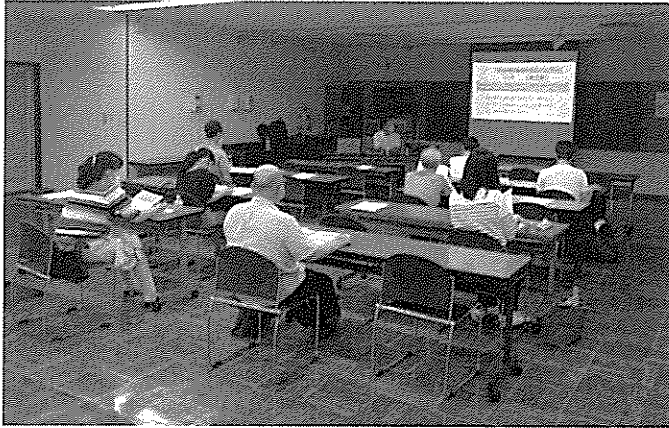
【内容】

挨拶後、武蔵野市パートナーシップ制度について、武蔵野市発行のガイドブックを用いながら、武蔵野市市民部市民活動推進課の向田恒彦男女平等推進担当課長によって説明をいただいた。その後、「性の多様性の観点から考えたいこと」というテーマで東京都行政書士会武鷹支部支部長の田中勉より講演があった。具体的には、婚姻についての現行民法、任意後見制度や公正証書についての基本的な知識を確認していきながら、パートナーシップ契約書の作成、相続、療養看護などについてのヒントとなるような事柄が説明されていった。また、現行の法制度において、性の多様性によるパートナーシップにどの程度対応しているのか等について講師から見解が示された。

なお、講義終了後の個別相談会には1組の相談者があった。

【参加者の感想】

- ・なにげなく男女の夫婦で生活していると考えないところです。でも、そんな悩みがあることも事実ですね。世の中に追いつく、制度・仕組み作りを進めたいと思います。
- ・制度自体が目的ではなく、共生に向けた意識のアップデートが大切という話を聞いてよかったです。



【男女平等推進登録団体活動紹介 パネル展】

1 武蔵野市役所ロビー

(1)日時 令和4年6月15日(水曜日)～6月21日(火曜日)

(2)出展 6団体

- ・ 境おやこひろば
- ・ 生活クラブ グループ創
- ・ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～
- ・ 日本の歴史と教育を考える会
- ・ パシイワ武蔵野グループ
- ・ フェアトレードむさしの

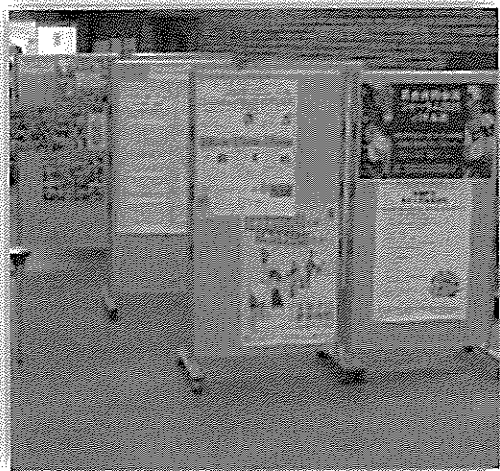
2 武蔵野プレイス ギャラリー

(1)日時 令和4年6月24日(金曜日)～6月26日(日曜日)

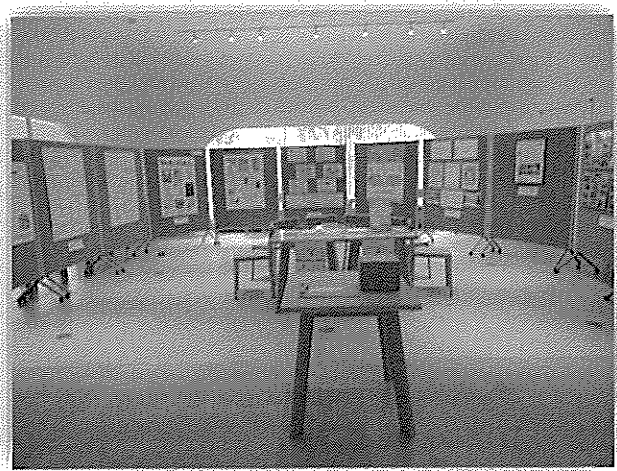
(2)出展 7団体

- ・ 境おやこひろば
- ・ 生活クラブ グループ創
- ・ 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ
- ・ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～
- ・ 日本の歴史と教育を考える会
- ・ パシイワ武蔵野グループ
- ・ フェアトレードむさしの

3 展示の様子



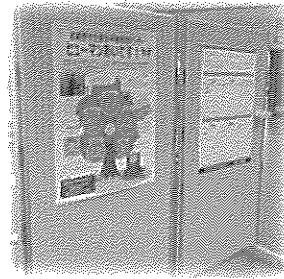
市役所 ロビー



武蔵野プレイス ギャラリー

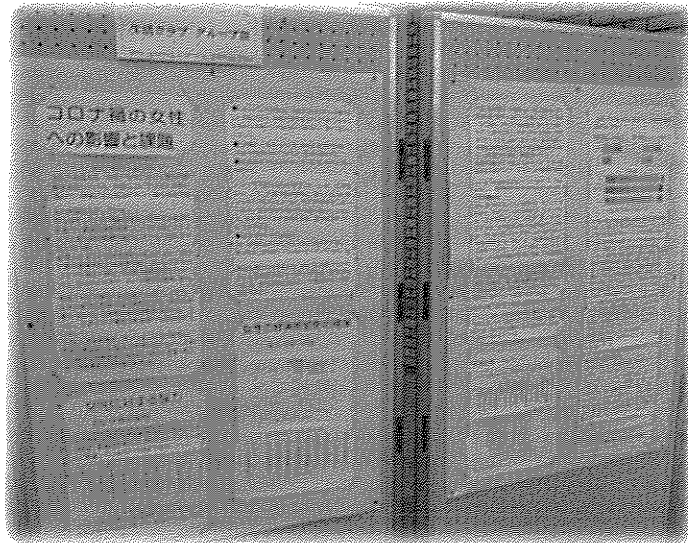


男女共同参画フォーラムの紹介

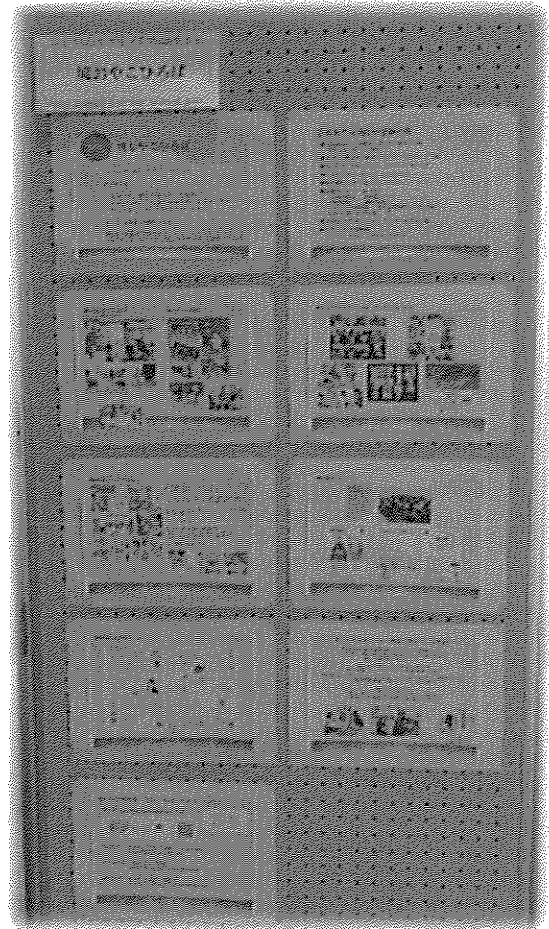


センターの紹介

配布資料



生活クラブ グループ創



境おやこひろば



作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ



にじいろじかん
～ライフスキルを育む性教育～



日本の歴史と教育を考える会



パシイワ武蔵野グループ



フェアトレード
むさしの

男女平等とサステナブルな社会

—知識と意識をアップデート



男女平等は持続可能な社会と人々の幸福に不可欠な要素です

主催：武蔵野市 協力：武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会

A 講演会 6月25日(土) 14:00-16:00 (開場13:30)

男女平等とサステナブルな社会 —知識と意識をアップデート

手話通訳 締切 6月15日(水)

ジェンダーギャップの解消と女性のエンパワーメントが、持続可能な社会の鍵です。10年後の未来、世界のどこにいても幸せに生きるために、どう考え、行動していったらよいのか、考えます。

会場 武蔵野スイングホール **定員** 60名(申込順)

保育定員 10名 保育締切:6月13日(月)

大崎麻子さん NPO 法人Gender Action Platform 理事



上智大学卒。コロンビア大学大学院修士号取得。

1997年に国連開発計画(UNDP)に入局、世界各地で女子教育、女性の雇用・起業支援、紛争・災害復興等のプロジェクトを手がける。2005年よりフリーの専門家として国内外で調査・政策評価・提言、研修、教育・啓発活動を行っている。一男一女を育てながら、国内外での仕事に従事し、子連れ出張も数多く経験。著書に『女の子のための幸福論 もっと輝く、明日からの生きかた』(講談社)、『エンパワーメント 働くミレニアル女子が身につけたい力』(経済界)などがある。

B 講座 7月3日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

男らしさの鎧よろいにさよなら

「鎧よろいを脱いでみたら結構良かった。」俺たちから「私」という個人を生きる生き方にシフトした講師にお話しいただきます。

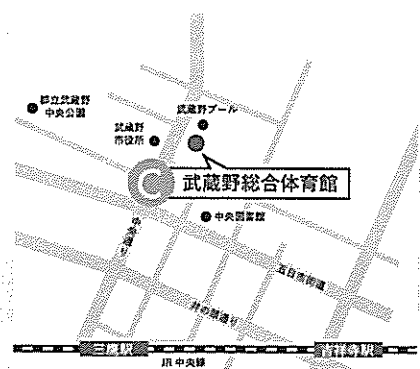
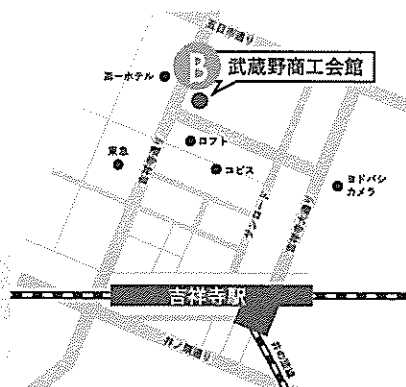
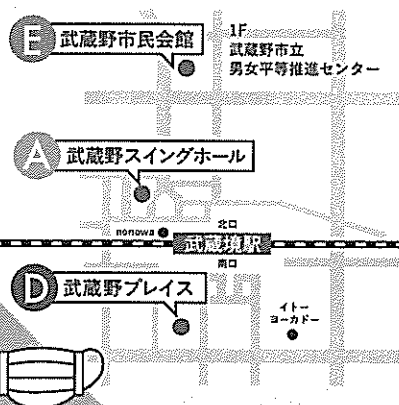
会場 武蔵野商工会館 4階市民会議室(ゼロワンホール)

定員 40名(申込順) **保育定員** 10名 保育締切:6月20日(月)

清田隆之さん 文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表



早稲田大学第一文学部卒業。「恋愛とジェンダー」をテーマに幅広いメディアに寄稿。朝日新聞beの人生相談「悩みのつぼ」では回答者を務める。著書に『よかれと思ってやったのに』(晶文社)、『さよなら、俺たち』(スタンド・ブックス)、『自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話から見えた生きづらさと男らしさのこと』(扶桑社)など。



マスク着用 | 手指消毒 | 検温

幼児から思春期まで 明るく伝えよう、生と性のこと

性教育に気恥ずかしいイメージを持っていませんか?性教育は、体と心を守る知識であり、人権やジェンダー等も含まれます。聞いた子どもが幸せに感じ、相手も尊重できる人に育つために、親や地域から明るく伝えるヒントを学びます。大人対象の講座です。

会場 武蔵野総合体育館 大会議室
定員 50名(申込順) **保育定員** 5名 保育締切:6月6日(月)



直井亜紀さん 一般社団法人ベビケア推進協会代表理事・助産師・思春期保健相談士・日本思春期学会性教育認定講師

「聞いた子どもが幸せな気持ちになる言葉」をモットーとした、いのちや性の話を伝え続けている。今まで、小・中・高校または企業などにて約5万人以上へ実施。受賞歴は、母子保健奨励賞、内閣府特命担当大臣表彰受賞など。著書には「お母さんのための性教育入門」(実務教育出版)・「思春期のわが子と話したい性のこと」(新星出版)がある。

令和時代の地域アクション 地域防災×ジェンダー×教育

大災害や感染対策で、地域の防災力が問われています。ジェンダーの視点を取り入れて固定化した役割を見直す。子育て世代と子どもが地域とつながり、防災を通して他者への配慮を学ぶ。子育て支援拠点の事例発表と講演から自分たちができることを考えます。

会場 武蔵野プレイス4Fフォーラム
定員 60名(申込順) **保育定員** 2名 保育締切:6月13日(月)



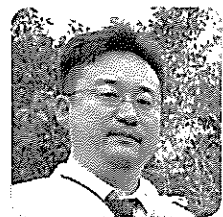
小山内世喜子さん 一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 / 防災士 / 国家資格キャリアコンサルタント

青森県男女共同参画センター館長を経て、東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育を15,000人以上、中学校など延べ36校6,200人を対象に実施。参加者の主体性を尊重した「誰ひとり取り残さない」地域づくりにも貢献。

ちいさき声を活かせる街へ 性の多様性の観点から考えたいこと & 暮らしの無料相談会

性の多様性の観点から考えたとき、日常生活で必要となる諸手続きがスムーズに実現できる社会とは?法律や条例、パートナーシップや相続に関する相談事例などを身近な専門家である行政書士が解説 & 無料相談会を実施します。

会場 武蔵野市民会館地下1階 集会室
定員 60名(申込順) *個別相談をご希望の方は、申込時に「相談希望」と明記してください。相談も申込順に受付です。 **保育定員** 10名
 保育締切:6月20日(月)



田中勉さん 東京都行政書士会武蔵支部 支部長

2013年武蔵野三鷹地区の行政書士により構成される団体の長に就任。以来、暮らしに関する無料相談会の実施などの地域活動に従事。「性の多様性」に関する相談も受ける中で『多様性の尊重』をキーワードとした活動を模索している。

申込・問合せ先 武蔵野市立男女平等推進センター TEL:0422-37-3410 E-MAIL:danjo@city.musashino.lg.jp

申込方法

- *5/16(月)から、市ホームページ、またはEメール、電話で受付します。(申込順)
- *「氏名、住所、電話番号、メールアドレス」を明記し、お申込みください。
- *Eメールの場合は、件名に「講座名」を書き、氏名・住所・電話番号をお知らせください。
- *保育は6か月以上未就学児対象。各企画の保育締め切り日までに、①住所(すべて記載) ②お子さんの氏名(ふりがな) ③年齢(○歳△か月;講座当日)をお書きのうえお申込ください。定員を超えた場合は抽選となります(市民優先)。



申込み開始日
5/16日(月)

男女平等推進登録団体活動紹介パネル展

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、時間が限定される場合があります。展示時間の詳細は市HP等でご確認ください。

武蔵野市役所ロビー 6月15日(水)~6月21日(火) | 武蔵野プレイス1Fギャラリー 6月24日(金)~6月26日(日)

男女平等とサステナブルな社会 —知識と意識をアップデート

男女平等は持続可能な社会と人々の幸福に不可欠な要素です



幼児から思春期まで 明るく伝えよう、生と性のこと

性教育に気恥ずかしいイメージを持っていませんか？性教育は、体と心を守る知識であり、人権やジェンダー等も含まれます。聞いた子どもが幸せに感じ、相手も尊重できる人に育つために、親や地域から明るく伝えるヒントを学びます。大人対象の講座です。

講師



直井亜紀さん

一般社団法人ベビケア推進協会代表理事・助産師
思春期保健相談士・日本思春期学会性教育認定講師



聞いた子どもが幸せな気持ちになる言葉」をモットーとした、いのちや性の話を伝え続けている。今まで、小・中・高校または企業などにて約5万人以上へ実施。受賞歴は、母子保健奨励賞、内閣府特命担当大臣表彰受賞など。著書には「お母さんのための性教育入門」(実務教育出版)・「思春期のわが子と話したい性のこと」(新星出版)がある。
HP: <https://www.sara-lovebaby.com/>

会場

武蔵野総合体育館【大会議室】

武蔵野市吉祥寺北町5-11-20

保育

無料
定員5名
(要事前申込)

日時

2022年6月18日(土)

14時30分～16時30分
(開場14:10)

定員 50名
(申込順)

参加費

無料

お申込

武蔵野市立男女平等推進センター

申込は
5月16日(月)から

市ホームページ
からお申込み



メール

danjo@city.musashino.lg.jp

電話

0422-37-3410

◆市ホームページ、Eメール、電話にて受付します。

「氏名、住所、電話番号、メールアドレス」を明記し、お申込みください。申込順に受付します。

◆Eメールの場合は、件名に「講座名」を書き、氏名・住所・電話番号をお知らせください。

◆保育は6か月以上未就学児対象。6月6日(月)までに、

①住所(すべて記載) ②お子さんの氏名(ふりがな) ③講座当日の年齢(○歳△か月)を
お書きのうえお申送ください。応募者多数の場合は抽選、武蔵野市在住優先となります。



当日は、検温、マスク着用と手指の消毒にご協力ください。

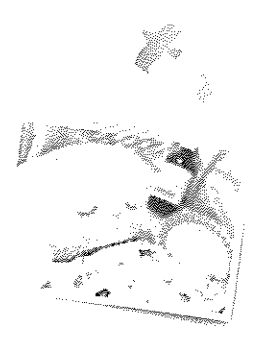
主催

武蔵野市

企画
運営

にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～
<https://nijiirojikan.localinfo.jp/>

自分らしく生きるための性教育



ライフスキルとしての性教育は
自分の心と身体はもちろんのこと
相手の心と身体も大切にコミュニケーションスキルからはじまります。

にじいろじかんでは
生まれたときの性別や社会が期待する役割に関係なく
自分らしく生きるための



ライフスキルを育む性教育講座を企画運営。

「おうち性教育」「親子で聴くいのちのはなし」

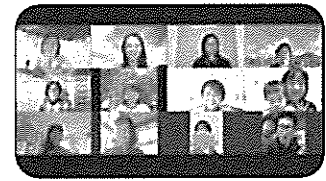
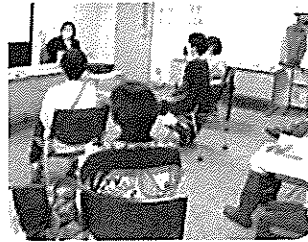
「月経教室」「男の子カラダ教室」「プライベートゾーン講座」など

子ども、大人、親子一緒に、また子どもに携わる先生方など

それぞれのニーズに合わせてカスタマイズしてお届けしております。

毎月、オンラインまたは武蔵野市/杉並区or長野県・軽井沢町周辺にて講座・座談会を、
杉並区内にて「ベビーマッサージとおうち性教育」を開催しています！

※杉並区子育て応援券対象

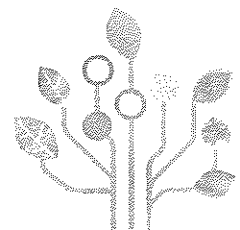


LINE

月1で講座情報やおススメ絵本のご紹介を配信中。登録してね！



<https://nijiirojikan.localinfo.jp/>
E-mail:nijiirojikan@gmail.com



ライフスキルを育む性教育
にじいろじかん

事例発表&講演



子連れ参加もOK!
会場内に子連れスペースを
設置しています

令和時代の地域防災 × ジェンダー × 教育

大災害や新型コロナウイルス、ウクライナ問題など私たちの命や暮らしが世界中で脅かされています。

令和時代の地域アクションでは『防災教育から考える未来』として、

- * 将来世代に多様性社会や他者への配慮を学ぶ防災教育の必要性
- * ジェンダーの視点を取り入れることで、地域防災の訓練や避難所がどう変わるか
- * 家族で安心して暮らしていくために、自分たちができることは何かを、みなさんと考えていきたいと思います。



講演



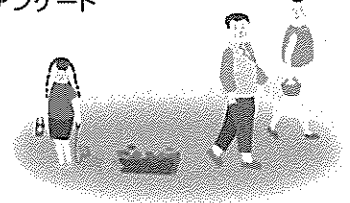
小山内世喜子さん

一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと代表理事 / 防災士

青森県男女共同参画センター館長を経て、東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育を全国で15,000人以上、中学校など延べ36校6,200人以上を対象に実施。参加者の主体性を尊重した「誰ひとり取り残さない」地域づくりにも貢献。内閣府の委員も務める。

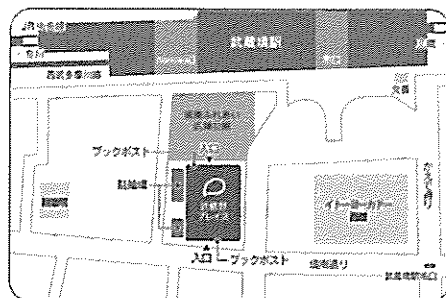
スケジュール

- 13:00 開場
- 13:30 開会あいさつ、説明
オープニングトーク
南町防災ネットワーク
- 13:50 事例発表：加藤真愛さん(サニーママむさしの代表)
子育てしながら地域とつながる
～子育て支援拠点における男女共同と防災の取り組み～
- ～休憩～
- 14:15 講演：小山内世喜子さん
「防災教育から考える未来」
サステナブルな社会の創り手育成
～ジェンダー視点を取り入れた防災とは?～
- 15:15 質疑応答、アンケート
- 16:00 閉会



2022 6/26 (日)
13:30-16:00 (開場13:00)

武蔵野プレイス4階フォーラム
東京都武蔵野市境南町2-3-18
(JR武蔵境駅 南口 徒歩1分)



【主催】武蔵野市 【企画運営】作ろう! みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ 【協力】南町防災ネットワーク 第三小学校 PTA

- 〈定員〉60名
- 〈参加費〉無料
- 〈無料保育〉2名(6ヶ月～未就学児、6/13締切)*
子連れ参加可、会場内に子連れスペース設置

お申込み・お問い合わせ：5/16(月) から

武蔵野市立男女平等推進センター

- 右のQRコードをご利用ください
- ☎ 0422-37-3410
- ✉ danjo@city.musashino.lg.jp
件名を「6/26事例発表&講演」とし、氏名・電話番号・住所(町名まで)を明記(申込順)。



※無料保育の申込方法

- 6月13日(月)までに、①住所(すべて記載)
 - ②お子さんの氏名(ふりがな)
 - ③年齢(〇歳△か月：講座当日)
- をお知らせください。定員を超えた場合は抽選(市民優先)。

ご協力をお願いします!

検温



マスクの着用



手指の消毒



【活動の記録】

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和3年度第6回委員会

日時：令和3年10月26日(火) 午前10時～正午

出席：11名

<検討事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・フォーラム2022のメインテーマについて意見出し。

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和3年度第7回委員会

日時：令和3年11月16日(火) 午前10時～正午

出席：9名

<検討事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・フォーラム2022のメインテーマを「男女平等とサステナブルな社会—知識と意識をアップデート」に決定。
- ・主催イベント（講演会、講座）について案を絞り込み。

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和3年度第8回委員会

日時：令和3年12月7日(火) 午前10時～正午

出席：9名

<検討事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・主催イベント（講演会、講座）の講師、内容、形式について検討。
- ・団体企画公募について説明。

◇団体企画の公募を開始（市報12月15日号掲載）

募集期間 令和3年12月17日(金)～令和4年1月24日(月)

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和3年度第9回委員会

日時：令和4年1月11日(火) 午前10時～正午

出席：10名

<検討事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・主催イベント（講演会、講座）のタイトル、リード文、内容等検討。

◇公募企画審査会（委員長/副委員長が選考委員として参加）

日時：令和4年2月14日(月) 午後

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和3年度第10回委員会

日時：令和4年3月1日(火) 午前10時～正午

出席：7名

<確認事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・主催イベント（講演会、講座）のタイトル、リード文等決定。
- ・団体企画公募審査結果について報告（3件採択）。

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和4年度第1回委員会

日時：令和4年4月12日（火）午前10時～正午

出席：11名

<確認事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・チラシの校正を確認。
- ・講師との打ち合わせ内容について確認。
- ・パネル展の実施時間や場所について検討及び協力を依頼。

◇フォーラム各催事申込受付を開始（市報5月15日号掲載）

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和4年度第2回委員会

日時：令和4年5月17日（火）午前10時～正午

出席：11名

<確認事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・主催イベント（講演会、講座）における協力を依頼。
- ・公募団体より団体紹介と企画説明。

◇令和4年6月15日（水）～7月3日（日）

市制施行75周年記念事業 男女共同参画フォーラム2022実施。

■男女平等推進センター企画運営委員会・令和4年度第3回委員会

日時：令和4年8月9日（火）午前10時～正午

出席：10名

<検討事項（以下フォーラム関連のみ）>

- ・フォーラム2022振り返り

武蔵野市男女共同参画フォーラム2022

『男女平等とサステイナブルな社会

—知識と意識をアップデート』

武蔵野市男女共同参画フォーラムは、“誰もが自分らしい生き方のできるまち”を目指し、さまざまな講座・講演会やパネル展示などを開催する市主催のイベントです。2022年度の実施にあたり、広く皆様から講座・イベントの企画を募集します。採用された企画は、企画団体に実施を委託します。多くの皆様のご応募・ご参加をお待ちしています。

企画募集!

<募集要項 (一部) > 詳細は裏面と募集要項の完全版も参照し、市ホームページから申請用紙をダウンロードの上、お申込ください。当センターでも申請用紙を配布しております。

◆**応募資格** (以下のすべてに該当することが条件となります。)

- ①主に市内で活動しており、男女共同参画の視点をもって本事業の趣旨に賛同し、事業を企画・実施する団体。
- ②特定の政党やこれに類する政治団体・グループ及び宗教活動や営利活動を主な目的とする団体・グループではないこと。
- ③フォーラム事業実施に関わる連絡会議、報告会等に代表者または会員が出席できること。

◆**募集事業**

男女共同参画の視点を生かした講演会、イベント、講座・ワークショップ、音楽会など当フォーラムの趣旨に沿ったさまざまな事業。

<テーマ例> ワークライフバランスの実現/男性の家事・育児・介護参加/女性の再就職/子どもの貧困/多様性を認める社会/性別役割意識の解消など

◆**説明会** (任意・初めての方はぜひご参加ください)

2021年12月17日 (金) 14時～15時
12月21日 (火) 11時～12時

- * 申込制 前日までに、電話またはEメールで男女平等推進センターへ申込み。
- * 会場 男女平等推進センター会議室 (市民会館 1階)

◆**事業実施日** 2022年6月18日 (土) ～ 7月3日 (日) のいずれか

◆**委託料**

一団体につき10万円まで (企画実施当日の託児費用含む)
※事業実施後の後払いになります。

◆**応募方法**

指定の様式 (男女平等推進センター窓口より入手、あるいは市ホームページからダウンロード) に記入し、男女平等推進センターまで郵送/メール、または窓口へ直接持参。

<募集期間>

2021年12月17日 (金) ～ 2022年1月24日 (月)

(※郵送の場合1/24必着)

受付/問い合わせ

武蔵野市立男女平等推進センター

♥ ヒューマンあい

受付: 9:00～22:00 (木曜 休館)

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-3-7 市民会館 1階

◇TEL 0422-37-3410

◇Eメール danjo@city.musashino.lg.jp

武蔵野市 男女

検索

センターHPへ→



<募集要項>（一部を掲載。詳細は、市ホームページからダウンロードするか、男女平等推進センターにて入手し、内容を確認のうえ、提出してください。）

◆ **募集事業**

男女共同参画の視点を生かした講演会、イベント、講座・ワークショップ、音楽会など当フォーラムの趣旨に沿ったさまざまな事業。 <テーマ例> ワークライフバランスの実現/男性の家事・育児・介護参加/女性の再就職/子どもの貧困/多様性を認める社会/性別役割意識の解消など

◆ **事業実施会場**

武蔵野プレイス、かたらいの道市民スペース、男女平等推進センター会議室等。
※希望会場の空き状況により調整させて頂く場合があります。

◆ **実施方法**

オンライン実施も可（但し、オンライン契約料、使用料は団体負担）

◆ **その他市からの支援**

- ①施設・付属設備の使用料免除（市内公共施設に限る）
- ②市報5月15日号への掲載及び男女平等推進センターのホームページでの事業周知
- ③フォーラムのチラシ・ポスターへの掲載、市内公共施設への配布
- ④募集チラシ印刷代の免除
- ⑤参加申込みの受付
- ⑥保育申込みの受付及び保育者の手配

◆ **応募方法**

指定の様式（男女平等推進センター窓口より入手、あるいはホームページからダウンロード）に記入し、男女平等推進センターまで郵送、メール、または窓口に直接持参。必要に応じて、企画や団体活動等に関する資料の提出を別途お願いする場合があります。

◆ **募集期間** 2021年12月17日（金）～ 2022年1月24日（月）

（※郵送の場合1/24必着）

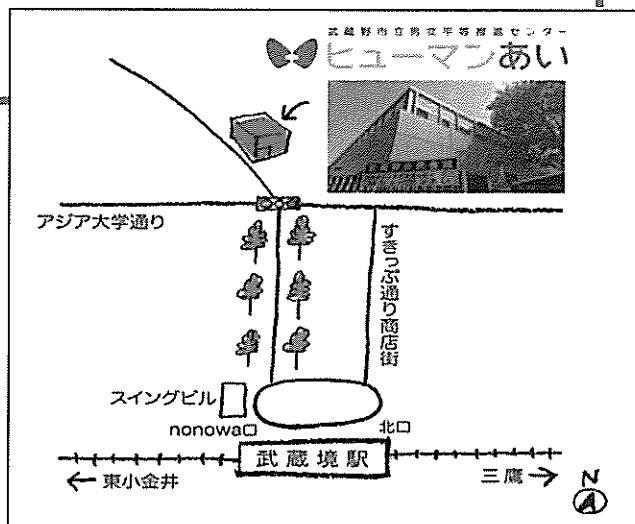
◆ **応募から決定までの流れ**

・ 審査会：2月初旬～中旬。日程は募集要項を参照。プレゼンテーション形式で事業内容を紹介して頂きます。（10分～15分程度）時間等は、応募者にご連絡します。

・ 結果通知：2月下旬頃、書面にて通知

※決定については提出書類と審査会プレゼンテーションにおける説明に基づき、企画の公益性や男女共同参画の視点、実施体制等を考慮し総合的に判断します。

応募書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。



武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会

令和4年度	
委員長	大島 登志子 (生活クラブ グループ創、むさしの男女平等推進市民協議会)
副委員長	田中 邦忠 (公募市民)
委員	市川 順子 (作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ)
委員	加藤 志歩 (公募市民)
委員	木下 章子 (むさしの男女平等推進市民協議会)
委員	内藤 博子 (パシイワ武蔵野グループ)
委員	長島 愛 (むさしの男女平等推進市民協議会)
委員	水野 麻美 (学校に行きづらい子供と親のお茶の間「ジョナ」、 むさしの男女平等推進市民協議会)
委員	青木 美佳 (男女平等推進センター会計年度任用職員)
委員	吉田 晴代 (男女平等推進センター会計年度任用職員)

(五十音順、敬称略)

「男女共同参画フォーラム 2022」参加団体

- ✦ 境おやこひろば (パネル展示)
- ✦ 生活クラブ グループ創 (パネル展示)
- ✦ 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ (団体企画、パネル展示)
- ✦ 東京都行政書士会武蔵支部 (団体企画)
- ✦ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～ (団体企画、パネル展示)
- ✦ 日本の歴史と教育を考える会 (パネル展示)
- ✦ パシイワ武蔵野グループ (パネル展示)
- ✦ フェアトレードむさしの (パネル展示)

(五十音順)

男女共同参画フォーラム 2022 報告書

発行日 令和4年10月
発行者 武蔵野市
連絡先 市民部 市民活動推進課 男女平等推進センター
武蔵野市境 2-3-7
電話番号 0422-37-3410